

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルリアルスポット相場は、原油価格が1ヶ月ぶりの安値水準へ大幅に下落した他、ブラジル経済見通しのさらなる悪化を背景に、リアル売りが優勢の展開となり、一時3.62台後半までリアル安が進行した。ボベスパ指数も前日比3.5%安まで急落。イラン石油相が主要産油国による増産凍結に当面参加しない考えを改めて表明したことに加え、サウジアラビアも「生産水準を維持するのは、イランを含む主要産油国が加わる場合に限定される」と発言したことで、「石油輸出国機構(OPEC)加盟国と非加盟国による生産水準の維持」という構想が後退。世界的に供給過剰状態が続くと懸念が再び強まった。また、ブラジル中銀が公表した週次サーベイにおいて、年末の成長率見通しが11週連続で下方修正されたことも重石となった(3.66%減→3.73%減)。インフレ率(IPCA)見通しはTombini中銀総裁が早期利下げに否定的な姿勢を示したため、7.31%から7.28%へ4週連続で引き下げられた。

国際通貨基金(IMF)のラガルド専務理事は、ドイツのフランクフルトで講演し、「中国の景気減速や原油価格の低迷で、世界経済の見通しがさらに悪化した」との考えを示した。今月中旬に公表する最新の世界経済見通しで、2016年の世界全体の成長率を今年1月時点の3.4%から下方修正する方針を示した。今月14-15日にはワシントンでG20財務相・中央銀行総裁会議が開催される予定。

マーケットデータ

Indicator		Unit	4月1日	4月4日	前日比	3月4日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3,5538	3,6238	+0,0700	3,7529	-0,1291
	対円	JPY	31,43	30,73	-0,70	30,27	+0,46
	対ユーロ	BRL	4,0482	4,1260	+0,0778	4,1304	-0,0044
円	対ドル	JPY	111,69	111,34	-0,3500	113,74	-2,4000
	対ユーロ	JPY	127,21	126,81	-0,40	125,18	+1,63
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	50.562	48.780	-1.782	49.085	-305
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	363,9	373,5	+9,6	415,7	-42,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	13,79	14,09	+0,30	14,79	-0,70
DI Future Apr17 (金利先物)		%	13,65	13,71	+0,06	14,07	-0,36
3 Months US Dollar Libor		%	0,629	0,629	+0,000	0,634	-0,005
CRB Index (国際商品指数)		Index	168,0	165,8	-2,2	168,5	-2,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

